

# 令和3年大船渡市教育委員会第11回定例会会議録

## 1. 日 時

令和3年11月22日（月） 午後2時00分から午後3時50分まで

## 2. 場 所

大船渡市役所 教育委員会会議室

## 3. 出席委員の氏名

教 育 長	小 松 伸 也
教育長職務代理人	柏 崎 正 明
委 員	村 谷 志 保
委 員	鈴 木 晴 紀
委 員	清 水 恵 子

## 4. 説明等のため出席した職員

教育次長兼教育総務課長	遠 藤 和 枝
学 校 教 育 課 長	佐 藤 真
生 涯 学 習 課 長	山 岸 健悦郎

## 5. 議 事

議案第1号 令和3年大船渡市議会第4回定例会に提案する、教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成することについて

議案第2号 令和3年度大船渡市教育委員会の事務に関する点検評価報告書（令和2年度実施事務事業）の公表に関し議決を求めることについて

議案第3号 教育財産の用途廃止に関し議決を求めることについて

## 6. 報告事項

（教育長）

① 令和3年度第2回県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換について

（教育総務課）

① 令和3年度大船渡市立博物館教育普及事業「個人所蔵資料くん蒸サービス」の実施結果について

② 「さんりくジオパークかわらばん2021in けせん」の実施結果について

③ 大洞貝塚国指定20周年関連事業 令和3年度文化財めぐりの実施について

④ 令和3年度大船渡市立博物館特別展示事業 特別展「おおほらの海（うみ）と陸（おか）—大洞貝塚国史跡指定20周年—」の実施について

⑤ 大洞貝塚国史跡指定20周年記念市民講座の開催について

(学校教育課)

- ① 児童生徒の問題行動、不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について

(生涯学習課)

- ① 令和3年度北里大学市民公開講座の開催について
- ② 令和3年度青少年体験学習事業「ドローンプログラミング体験教室」の開催について
- ③ 令和4年大船渡市成人式の開催について

## 7. 会議の概要

(教育長)

- ・令和3年大船渡市教育委員会第11回定例会の開会を宣言する。
- ・令和3年第10回定例会の会議録について、質問、意見を求めた結果、教育委員の承認を得る。
- ・諸報告事項について、事務局等の説明を求める。

(教育長)

- ・別紙資料等により報告する。

(教育総務課長)

- ・別添資料等により報告する。

(学校教育課長)

- ・別添資料等により報告する。

(生涯学習課長)

- ・別添資料等により報告する。

(教育長)

- ・追加報告を求める。
- ・追加報告がないことを確認後、報告事項についての質問、意見を求める。

(教育長職務代理者)

- ・県内でGIGAスクールサポーターとICT支援員のどちらも配置していない市町村が13市町村あるが、その中に大船渡市も含まれるのか。

(教育長)

- ・当市も含まれる。

(教育長職務代理者)

- ・陸前高田市と住田町はどうか。

(教育長)

- ・陸前高田市は配置しているが、住田町については把握していない。

(教育委員)

- ・「さんりくジオパークかわらばん けせん」の優秀作品が東海新報に掲載されていた。表現力、子どもたちの発想、まとめ方、イラスト・写真などいろんな要素が含まれ、総合学習や普段の様々な学習に活かされていく良い取組だと感じた。ぜひ、他の学校でも積極的に取り組んでほしい。

(教育次長)

- ・陸前高田市、住田町にも協力いただき、無事、気仙地区で実施することができた。三

陸ジオパークということで、更に県北にも広げていきたい。

(教育長)

- ・その他、質問、意見がないことを確認後、諸報告を終了する。

(教育長)

- ・開議を宣言する。
- ・日程第1、会期の決定について、会期を1日とする。
- ・日程第2、議案第1号についてであるが、資料が部外秘であることから秘密会にしたいと考えるがよろしいか。

(教育委員)

- ・異議なし。

(教育長)

- ・それでは、会議規則第13条第1項の規定により、議案第1号は秘密会とする。  
～議案第2号 令和3年大船渡市議会第4回定例会に提案する、教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成することについては、秘密会のため会議録省略～

(教育次長が説明し、教育長が採決を諮る。全員異議がなく、議案第1号は原案どおり可決される。)

(教育長)

- ・秘密会を解き、会議を続行する。
- ・日程第3、議案第2号について、説明を求める。

(教育次長)

- ・日程第3、議案第2号 令和3年度大船渡市教育委員会の事務に関する点検評価報告書(令和2年度実施事務事業)の公表に関し議決を求めることについて、説明する。

(教育長)

- ・議案第2号について、質問、意見を求める。

(教育長職務代理者)

- ・市民意識調査で生涯学習関連情報が十分に提供されていると答えた市民の割合は18.7%である。情報は広報と市のホームページで発信していると聞いた。確かに市のホームページには今年度実施する教室や講座情報がきちんと掲載されている。しかし、2割に満たないということはパソコンを開いて生涯学習関連情報を得ている人が少ないということだろう。
- ・市民の方々に情報が伝わらなければ、生涯学習活動への参加には結びつかない。例えば、4月に今年度分の事業を広報と一緒に各世帯へ配布するなど、本当に効果的な情報発信をした方がよい。

(生涯学習課長)

- ・これまで紙媒体で情報を発信していた時も同様の結果だった。内部で検討はするが、全体的にペーパレス化の流れでもあり、事業実施について広報にその都度掲載し周知していくつもりである。委員の意見は一つの課題として受け止めたい。

(教育委員)

- ・子どもたちがタブレットをより活用していくためには、先生方の技術やソフトの使い

方を支援するICT支援員が必要だと思う。先生方へのアンケートでも精神的なハードルが高い結果がでているので、早く整備してほしい。

- ・ことばの教室で訪問指導を検討してほしいとあるが、私も同感である。どのように考えているのか。
- ・ホームページを開設している学校が少ない。これからコミュニティ・スクールが導入されていくが、ホームページの開設について検討しているのか

(教育長)

- ・講座などの開催情報を生涯学習情報だと思っていない方もいるのではないかと。

(教育委員)

- ・各事業で対象年齢が設定されていると思う。周知したい年齢構成においてパソコン等を持っている方がどれくらいいるかということではないかと。

(生涯学習課長)

- ・IT講座を開催し、パソコンが無くてもスマホで検索できる方法を周知しているが、スマホの保有率は把握していない。ただ、ご年配の方もパソコン等が使えないから紙の方が良いという時代ではなくなってきていることは周知していきたい。

(教育委員)

- ・どの年代が生涯学習のイベントに参加しているのか。

(生涯学習課長)

- ・年齢制限がない講座は60代以上の参加が多い。
- ・生涯学習事業の参加者は年齢層が高い方が多く、働く世代の参加率については大きな課題の一つとなっている。

(教育長職務代理者)

- ・家庭教育学級等に参加している方は自ら情報を求めて教室に参加しており、満足度も高い傾向にある。

(教育委員)

- ・周知度と生涯学習事業の利用率が一致しているわけではないのか。

(生涯学習課長)

- ・そうである。

(教育長)

- ・イベントや講座によって対象者が違うため一概にはいえないが、市では今年度からラインを開設し、フェイスブック、ツイッターと併せて情報発信を行っている。

(教育委員)

- ・ライン登録者は何人くらいか。

(教育次長)

- ・以前、500人から600人という報告を受けた。その後、更に増加しているかと思う。

(教育委員)

- ・自分も登録している。こちらから求めなくても通知が来るため、非常に便利である。
- ・情報にはアクセスしやすくなったが、全然足りない。

(教育次長)

- ・開設したばかりであり、これからかと思う。

(学校教育課長)

- ・教職員のICTスキルの向上を目指し、教育委員会主催の研修会を今年度2回開催している。今後もプログラミング教室など様々開催しつつ、校内研究を効果的に活用するため、学校のニーズに合わせてながらスキルアップを図りたい。
- ・ことばの教室の訪問指導は運用等も含め調査しているところだが、人員などの諸事情により各校を毎日訪問するのは難しいかもしれない。
- ・学校ホームページの開設状況を把握し、情報発信の在り方を調査検討していきたい。

(教育委員)

- ・来年度、ICT支援員は配置されるのか。

(学校教育課長)

- ・検討段階である。

(教育委員)

- ・前向きにお願いしたい。

(教育委員)

- ・図書館の開館時間を1時間延長してほしいと思ったことが何回かある。高校生は普段から来ているが、特に期末考査前は大変込み合っており、一般の方も資格取得に向けて勉強している姿をよく見る。
- ・博物館の展示は、ぜひ子どもたちにわかりやすい工夫をしてほしい。全部でなくても良いが、子どもたちが興味を持ちそうな部分については解説が必要だと思う。
- ・学校に危険な場所があれば、学校はすぐに教育委員会に連絡し、専門家に点検を依頼した方が良い。特に死亡事故の多い、サッカーゴールなどの摩耗状況は一見ではわからず、専門家の点検が必要であろう。
- ・学校開放では、利用者に対し施設使用後に点検を課すことも必要だろう。
- ・学校図書の新規や処分にかかる労力が大きく、教員だけでは限界がある。ぜひ継続して図書ボランティアを配置してほしい。
- ・子どもよりも教員の理科離れが大きいのではないかと。昔はフナ解剖などがあり、自分は面白いと感じたが若い教員には抵抗があるようだ。教員自身がもう少し理解し、興味を持たなければ、子どもたちも関心を持たないだろう。
- ・小学校、中学校、高等学校の教職員での合同研修をやってほしい。

(教育次長)

- ・図書館の開館時間は大船渡市立図書館条例で定められており、改正するには市議会の議決が必要となる。利用者からの要望もあるため、対応については図書館で検討していくかと思う。
- ・博物館の展示に係る解説文については学術的な表示も必要であるため、簡単な解説をどのようにできるか研究していきたい。

(学校教育課長)

- ・学校施設の不具合が子どもの命に係わることもある。不具合がある場合は、学校から学校教育課へ随時連絡がある。いつでも万全の体制で整備していきたい。

(生涯学習課長)

- ・学校開放の利用者は不具合があれば体育協会に連絡することになっている。バレーボー

ルの支柱など学校備品か学校開放を利用しているスポ少の備品か把握できていないものもあり、検討が必要となる。

- ・図書ボランティアは学校協働本部事業として継続して配置したい。

(学校教育課長)

- ・理科は1時間の学習時間に対して準備と後片付けの時間がかかることから、理科専科への要望は多くなっている。県でも理科の研究授業を毎年実施し、教員の研修を深めている。
- ・外語語などは小学校と中学校で研究授業を行っている。高等学校も含めた研修については難しい部分もあるが検討しているところである。

(教育委員)

- ・大船渡市と北里大学は連携し、様々な事業を行っている。理科離れについても、合致するものがあれば、教育面での支援として進めていったらどうか。

(学校教育課長)

- ・以前、越喜来小学校で朝日田先生が中心になって活動された「川のがっこう」がとてもいい事業だった。ネットでの活用も含め、相談したい。

(教育長)

- ・朝日田先生に博物館で講座をしていただいた際も親子がたくさん参加した。教職員のための博物館の日でも2、3回程、お願いしている。
- ・北里大学との授業連携が可能であれば、どういうものが活用できるのかリストアップし学校側に提供していきたい。

(教育長職務代理人)

- ・教育振興運動の実践区は現在いくつあるのか。

(生涯学習課長)

- ・今年度、実践区は4つだが、統合した東朋中学校と第一中学校は、更に小学校区ごとに分かれて活動している。

(教育長職務代理人)

- ・コミュニティ・スクールが導入された場合は実践区も整備するのか。

(生涯学習課長)

- ・各学校にコミュニティ・スクールを設立する。

(教育長職務代理人)

- ・さらに教育振興運動の実践区もあるのか。

(教育次長)

- ・実践区とコミュニティ・スクールの整合については調整中である。

(教育長職務代理人)

- ・整理、統合した方が実際に活動する保護者の方は理解しやすいだろう。

(教育長)

- ・他に質問、意見がないことを確認後、議案第2号について諮る。
- ・全員異議がなく、議案第2号を原案どおり可決する。
- ・日程第4、議案第3号について、説明を求める。

(学校教育課長)

- ・日程第3、議案第3号 教育財産の用途廃止に関し議決を求めることについて、説明する。

(教育長)

- ・議案第3号について、質問、意見を求める。

(教育長職務代理者)

- ・体育館側の道路幅が狭くなっている。狭い部分は体育館を壊してから拡張するのか。

(教育次長)

- ・今年度は北側部分の工事となり、この部分については未確定である。

(教育長)

- ・他に質問、意見がないことを確認後、議案第3号について諮る。
- ・全員異議がなく、議案第3号を原案どおり可決する。

(教育長)

- ・その他、質問・意見、追加議案がないことを確認後、議案審議を終了する。
- ・議案がないことを確認後、令和3年大船渡市教育委員会第11回定例会の閉会を宣言する。

会議録作成者 教育長 小松伸也

会議録署名者 教育長

教育長職務代理者

委員

委員

委員